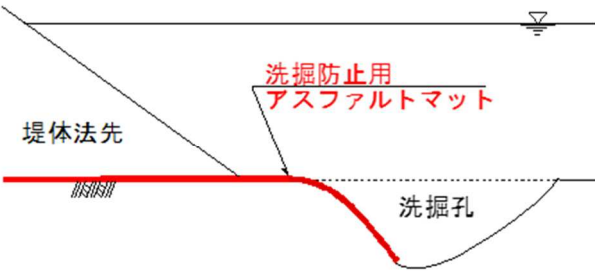



令和3年度 評価技術（一般技術）

評価番号	第16-A-001-01号 (第1回更新)	技術の名称	洗掘防止用アスファルトマット
技術の種類	一般技術	依頼者	日本海上工事株式会社
技術の特徴	<p>洗掘防止用アスファルトマットは、海洋構造物の捨石マウンドや消波ブロック等の基礎法先に敷設し、堤体の存在により生じる洗掘孔の斜面上に、その自重とたわみ性によってたわみ込ませ、洗掘孔の発達を防ぎ、また、捨石層を通過する底質の吸出しを抑制する海底面被覆材である。</p> <p>構造形式ごとに、現地波浪条件に応じて簡易に設計可能であるため、敷設箇所において経済的かつ効果的に洗掘防止性に優れるアスファルトマットの諸元（必要厚さと必要張出し長さ）を設計できる。</p> <p>又、洗掘防止用としてアスファルトマットの先端部に孔を設ける事により、初期の浮上り揚圧力を軽減する効果が得られるため、マット厚さを30～50%低減できる。</p> <p>材料は、アスファルト合材を使用しており、海水中での長期耐久性を有するとともに、水質に対する影響がない。また、補強芯材が設置されているため、耐荷性にも優れている。現場条件に応じた、製作・施工が可能である。</p>		
評価結果	  <p>(1) 不透水性で自重の大きなアスファルト合材を使用し、洗掘孔の発達、底質の吸出しを抑制できることが確認された。</p> <p>(2) 先端に適切な開口率の孔を設ける事により、揚圧力に対する安定性が向上することが確認された。</p> <p>(3) 長期耐久性を有することが確認された。</p> <p>(4) 消波ブロック直載時においても洗掘および吸出し防止性能を損なわない十分な耐荷性を有することが確認された。</p> <p>(5) 周辺海域の水質に対する影響がない事ことが確認された。</p> <p>(6) 設置箇所の使用条件や構造形式、波浪等の現地条件により、マットの必要厚さ、張出し長さを設計できることが確認された。</p> <p>(7) 運搬条件や現場条件等に応じて、幅、長さを組み合わせたマットが製作できることが確認された。</p>		